



2026年2月13日

各位

会社名 株式会社ヘッドウォータース  
代表者名 代表取締役 篠田 庸介  
(コード: 4011、グロース)  
問合せ先 取締役管理本部長 原島 一隆  
(TEL. 03-6258-0525)

業績予想数値と実績値の差異に関するお知らせ、及び  
営業外費用（デリバティブ評価損）の計上に関するお知らせ

当社は、2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期の連結業績予想と本日公表いたしました実績値に差異が生じました。また、営業外費用（デリバティブ評価損）の計上を行いましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年12月期通期連結業績予想数値と実績値の差異  
(2025年1月1日～2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 4,007	百万円 328	百万円 332	百万円 237	円 銭 62.57
実績値 (B)	3,900	229	128	58	15.26
増減額 (B - A)	△107	△99	△204	△179	
増減率 (%)	△2.7	△30.2	△61.4	△75.5	
(参考) 前期実績 (2024年12月期)	2,905	307	362	272	72.01

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、過去最高売上を更新したもののトランプ関税の影響による一部主要顧客の案件停止や遅延の影響により、予算未達となりました。

営業損益については、企業規模の拡大に伴う人員増強による人材募集費や人件費の増加、及び子会社、関連会社株式取得に伴う手数料等が発生した結果、99百万円減となりました。

また、営業外損益において、株式会社B T Mの株価低迷に伴うデリバティブ取引の時価評価によりデリバティブ評価損が58百万円発生し、持分法適用会社のれん相当額の影響により持分法損失が40百万円発生した結果、経常利益で204百万円減、親会社株主に帰属する当期純利益で179百万円減となりました。

3. 営業外収益の内容

当社は、2025年12月期通期連結累計期間において、デリバティブ評価損による営業外費用58百万円が発生しており、経常利益が減少した主な要因となっております。このデリバティブ取引については、資本業務提携に伴う株式取得の一環として行われたものであり、投機的取引に該当するものではありません。

上記の営業外収益（デリバティブ評価益）は、本日公表の「2025年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上